



Kenji Usui Ballet Collection

薄井憲二バレエ・コレクション vol.23

薄井憲二バレエ・コレクション
プティパ没後100年

2010/4/6 (Tue.)~2010/5/9 (Sun.)



◆マリウス・プティパ / Petipa, Marius
バレエ・ダンサー、バレエ教師、振付家
1818年3月11日生まれ、1910年7月14日死去

クラシック・バレエ史上、現在に至るまで最も大きな影響を与えた振付家。
マルセイユのバレエ一家に生まれ、1813年にブリュッセル、モネ劇場で初舞台。ベルギー独立革命からのがれ、1835年頃からボルドー、つづいてナントなどで活躍、北米ツアーも行った。1843年よりマドリードの王立劇場よりアルミール・ダンスールとして招かれ、4年間ここに活躍の拠点を置いた。1847年にロシアに招かれ(29歳)、ロシア帝室劇場のブルミエ・メートル・ド・バレエとして活躍した。1855年に初めての振付作品『グラナダの星』を発表し、以降50以上の作品を振付した。
『ファラオの娘』(1862)で成功をおさめた後、『ドン・キホーテ』(1869)、『ラ・バヤデル』(1877)、つづいて『チャイコフスキー3大バレエ』と呼ばれる『眠れる森の美女』(1894)、『くるみ割り人形』(1892)、『白鳥の湖』(1877)を振付け、チャイコフスキーの音楽と共にロシアのバレエ黄金期を築いた。
1902年の『魔法の鏡』というシンデレラに題材を取った作品を最後にブルミエ・メートル・ド・バレエを離れ、クリミアで余生を過ごした。

薄井憲二バレエ・コレクション プティパ没後100年

100th anniversary of Marius Petipa

vol.23

2010/4/6 (Tue.)~2010/5/9 (Sun.)

出展リスト (作品・資料名/分類/年代/ほか)

◆『ラ・フィーユ・マル・ガルデ』の「リーズ」を踊るアンナ・ウヴァノワナ
(1830-1887) (写真 [PH-1730] / 1846年/ロシア)
Uvanova, Anna as Lise in "La Fille Mal Gardée" / Russia / 1846
写真館: S.Vergamasko

◆『ファウスト』の「ファウスト」を踊るマリウス・プティパ(1818-1910)
(写真 [PH-1731] / 1854年/ロシア)
Petipa, Marius as Faust in "Faust" / Russia / 1854
写真館: S.Vergamasko

◆フェリックス・クシェシンスキーとマチルダ・マダエヴァ『レバノンの美女』
(写真 [PH-1736] / 1863年/ロシア)
Kshessinsky, Felix and Madaeva, Mathilde in "La Belle de Lebanon" / Russia / 1863
写真館: S.Vergamasko

◆『ファラオの娘』の「アスピシア」を踊るマリア・スロヴチコワ・プティパ
(1836-1882) (写真 [PH-1737] / 1862年/ロシア) [写真左]
Petipa, Maria Surovtchikova as Aspacia in "La Fille de Pharaon" / Russia / 1862
写真館: S.Vergamasko

◆マリウス・プティパのポートレート (写真 [PH-1741])
Portrait of Petipa, Marius / Russia / 1860's
写真館: M.Konarsky

次回予告

『女のたくらみ』 ~『チマロジアーナ』ホセ・マリア・セールのバレエ~

バレエ・リュスが存在した1909年から1929年の間に彼らは約64作品のバレエを発表しました。今回はその中から『女のたくらみ』を取り上げて紹介いたします。セールの独特のデザインをお楽しみください。
(期間: 2010/5/11~2010/6/1 於: 2階共通ロビー)

◎企画・監修
芳賀直子 (はが・なおこ / 舞踊研究者 薄井憲二バレエ・コレクション・キュレーター)
Naoko Haga (Curator of Kenji Usui Ballet Collection)